

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	患者のための薬局ビジョン推進事業費			担当部局庁	医薬・生活衛生局		作成責任者				
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長 辺見 聡				
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-、中短期工程表(平成28年6月2日閣議決定) 骨太の方針2016(平成28年6月2日閣議決定)						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	かかりつけ薬局の機能を明確化し、将来に向けた薬局再編の姿を示す「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けて、24時間対応や在宅対応等における地域の薬局間での連携体制の構築のための取組や健康サポート機能の更なる強化に向けた先進的な取組など、薬局のかかりつけ機能の強化のためのモデル事業を実施する。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)患者のための薬局ビジョンの実現に資するテーマ別モデル事業【補助率:10/10】 ①地域の薬局全体のかかりつけ薬局機能強化のための連携推進事業、②多職種連携による薬局の在宅医療サービスの推進事業、③電子版お薬手帳を活用した先進的な地域の健康づくり推進事業、④薬局・薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業 (2)患者のための薬局ビジョン実現のための調査・検討事業 現在の薬局の実態(立地条件、設備、人員体制、在宅医療等の取組状況などを調査・分析し、当該結果を踏まえて、ビジョン実現のためのロードマップや具体的な施策を講じる上での留意点等を検討する。										
実施方法	委託・請負、補助										
予算額・執行額(単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	180	193					
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	180	193	0				
	執行額		0	0	171						
執行率(%)		-	-	95%							
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	95%							
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	衛生関係指導者養成等委託費		175								
	保健福祉調査委託費		18								
	計		193	0							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度	
	地域包括ケア等に貢献するため、在宅・24時間対応の薬局を増加させ、薬局のかかりつけ機能の強化を図る		基準調剤加算(1及び2(平成28年度に統合))の届出薬局数 ※基準調剤加算1…近隣の薬局と連携して24時間調剤等の体制を整備等 ※基準調剤加算2…自局単独で24時間調剤等の体制整備、在宅実績の要件化等 (注)平成28年度診療報酬改定により、基準調剤加算の1と2は統合され、大幅な要件の見直しが行われたため、平成27年度依然と平成28年度以降の比較及び平成28年度の目標値を定めることは困難		成果実績	件	29,691	31,127	集計中	-	-
					目標値	件	-	29,691	-	-	28年実績以上
					達成度	%	-	104.8	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)		中央社会保険医療協議会資料									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	参加自治体(都道府県)数		活動実績		件	-	-	30	-	-	
当初見込み			件	-	-	28	28	精査中			

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込					
	活動実績	当初見込み											
検討会開催回数	活動実績	回	回	-	-	6	-	-					
	当初見込み	回	回	-	-	6	6	精査中					
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込						
	X:補助金執行額(千円)／Y:補助事業者数(件)						千円	-	-	5,545	6,269		
			計算式	X / Y	-	-	166,345/30	175,539/28					
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器・再生医療等製品を国民が適切に利用できるようにすること(I - 6)											
		施策	医薬品の適正使用を推進すること(I - 6 - 3)										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度			
		重複投薬・相互作用の防止の取組件数 (目標値は2014年までの直近3年の平均件数(71,502)の2倍)						実績値	件	-	-	-	-
				目標値	件	-	-	-	-	-	143,003		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	平成27年10月に策定した患者のための薬局ビジョンの実現に向けて、ロードマップや具体的な施策を講じる上での検討及びかかりつけ薬局機能強化のためのテーマ別モデル事業を実施し、薬局のかかりつけ機能の強化を図ることで、服用歴や現在服用中の全ての薬剤に関する情報等を一元的・継続的に把握し、重複投薬等や相互作用の防止につながる。												
	改革項目	分野:	-										
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時		28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
						-	-			-	-	-	-
成果実績			件	-	-	-	-	-	-				
目標値		件	-	-	-	-	-	-					
達成度		%	-	-	-	-	-	-					
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時		28年度	29年度	中間目標		目標最終年度		
			-		-	-			-	-	-		
	成果実績		-	-	-	-	-	-	-				
目標値		-	-	-	-	-	-	-					
達成度		%	-	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													
事業所管部局による点検・改善													
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明								
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	かかりつけ薬局機能の強化を図ることにより、服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導が可能となり、国民の薬物療法の安全性・有効性が向上するほか、「かかりつけ薬局」として地域包括ケア等に貢献することを目的とする事業であることから、国民や社会のニーズを的確に反映しているものである。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	地域の薬局全体のかかりつけ薬局機能強化のための連携推進など、薬局のかかりつけ機能の強化を図るための事業であり、国において積極的に支援・啓発を行っていく必要がある。								
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	「かかりつけ薬局」として地域包括ケア等に貢献し、地域で暮らす患者本位の医薬分業の実現に資する事業であり、優先度の高い事業である。								
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			△	患者のための薬局ビジョン実現のロードマップ策定に係る調査検討事業については、企画競争を行い、応募のあった企画書について、企画書評価委員会において評価を行い、最も適当な者と契約を締結したものであり、その支出先の選定は妥当である。								
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無									
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無									
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-									
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	本事業に必要なものに限定されており、単位当たりのコストは妥当である。								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-									
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	支出額については実績報告書等で確認を行っており、費目・用途は、事業実施に必要なものに限定されている。								
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-										
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-										
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-										

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	平成27年度においては成果実績は見込みを上回っており、成果目標に見合ったものとなっている。平成29年度の目標については、平成28年度の実績を踏まえ、設定することとした。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	参加自治体数は、当初見込みを達成した実績となっており、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	平成28年度からの事業であるが、薬局のかかりつけ機能強化のためのモデル事業への参加自治体数も当初見込みを上回っており、今後も参加自治体数は増加していく予定である。単位あたりコスト等についても、各自治体から応募のあった事業計画書を精査し、真に必要な経費の配分を行ってまいりたい。	
	改善の方向性	適切に予算を執行し、事業の目的が達成できており、引き続き事業を実施する。	

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

-	
---	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	新28-0009					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

```

graph TD
    A[厚生労働省  
171百万円] --> B["【補助金等交付】  
A. 道府県(30)  
166百万円"]
    A --> C["【随意契約(企画競争)】  
B. みずほ情報総研(株)  
5百万円"]
    B --> D["【地域の薬局全体のかかりつけ  
薬局機能強化のための連携推  
進事業などを実施】"]
    C --> E["【患者のための薬局ビジョン実  
現のロードマップ策定に係る調  
査検討事業】"]

```

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.福岡県			B.みずほ情報総研(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	地域全体のかかりつけ薬剤師・薬局機能強化のための連携推進事業	6	人件費	薬局の実態や取組状況に関する調査・分析	1	
委託費	多職種連携による薬局の在宅医療サービスの推進事業	5	雑役務費	検討委員会の議事録等	1	
その他	ヒアリング調査、打合せ旅費、消耗品	0	その他	検討委員会の開催に必要な経費(諸謝金、旅費、会議費)等	3	
計		11	計		5	

